



J2リーグ規格

全景写真

サッカースタジアム完成!!



観客席

沖縄県総合運動公園は中城湾に面した沖縄市の南東に位置し、泡瀬半島から北中城の奥武岬にまたがる70.4haの広大な公園です。公園内ではサッカーやラグビー、バスケットボール等、様々なスポーツができるほか、キャンプ場やプール等の屋外レクリエーション、自然観察や憩いの広場等、多彩な目的で利用されています。

平成27年3月、沖縄県総合運動公園の陸上競技場がリニューアルされ、プロのサッカー公式戦が開催できる競技場となりました。これまで、陸上競技場としては日本選手権や国民体育大会等、国際的な大会が開催

可能でしたが、その機能を維持しながら、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が定めているJ2ホームスタジアムの規格を満たすように改修工事を行いました。

今回、工事によって大きく改善した点は3つあります。

1つ目はスタンドの観客席が全て長椅子から個席になったことです。メインスタンドに4,861席、バックスタンドに3,828席、ゴール裏スタンドに1,437席と合計1万126席の個席を整備しました。

2つ目は高さが約53メートルの屋外照明灯を4基整備したことです。これまでのものと比べると約7倍以上の明かりを照らすことができ、サッカースタジアムとしては全国初のLED照明を採用しました。

3つ目は縦7.86メートル、横14.08メートル（631インチ）の大型映像装置を設置したことです。この装置は得点表記を行う他、選手紹介やゴールシーンの再現動画、他スタジアムの映像を流すことができ、どの位置の観客席からも観覧できます。

現在、陸上競技場は地元沖縄のチームであるFC琉球のホームスタジアムとして公式戦を開催しており、冬季には



大型映像装置

サッカーキャンプ地としての誘致活動も予定しています。

県民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進が図られる生涯スポーツの推進や、競技スポーツにおけるトップアスリートの育成などにつながることを期待されています。家族や友達とリニューアルされた沖縄県総合運動公園の陸上競技場へ、ぜひ遊びに来てください。



お問い合わせ 都市計画・モノレール課 電話:098-866-2408 FAX:098-866-5938

シリーズ① イマイユ(鮮魚)の マース煮

新鮮な魚と繊細な塩梅が
味のキメ手

沖縄の郷土料理として知られる「マース煮」。マースは方言で塩をさし、ひたひたの水と塩、泡盛を使って魚を煮た料理のことです。シンプルなものだけに美味しく仕上げるコツは新鮮な魚を使うこと。漁師町・糸満では獲れたばかりの魚を使って、日頃から家庭や食堂の定番料理として食べられてきました。

マース煮で使う魚といえばエーグワー(あいご)が良く知られていますが、漁師の多い糸満では隣近所で魚をわけてくれることも多く、いろんな魚で作っていましたよ」と糸満で鮮魚店を営む高江洲さん。材料も少なく、一見とても手軽な料理ですが、塩加減や調理の工夫によって味わいが異なるというマース煮。イマイユが手に入ったら、しみじみと美味しい海人の町の伝統の味わいに挑戦してみませんか。



ふるさと の 卓食

健やかな笑顔の素・食と体づくり 糸満市



モデルにも選ばれています。

糸満市の笑顔
琉球舞踊で美と健康を

糸満市のNPO法人沖縄健康づくり協会ダブルピースが提唱する琉球舞踊を用いて美と健康を追求するプログラムが今、話題になっています。これはストレッチなどで体幹を鍛えて琉球舞踊のしなやかな動きを修得し、健康づくりに役立てるといいます。経済産業省の疾病予防アクティブレジャーの認証モデルにも選ば